

○TEC-Doctor※を福岡県添田町、国道57号等に派遣し助言等を実施。

※土木の分野に関する高度な技術や専門的な知識を有する学識経験者により構成され、国土交通省が管理する河川・道路・砂防施設などが災害等により損傷した場合に、現地調査を始め機能復旧に向けた調査や適切な災害復旧工法の選定（平常時については予防的措置）等に関する指導・助言を行うことを目的とした制度です。この制度は、災害時に地方公共団体等からの要請に対しても、適用することとしています。

福岡県添田町における救出活動作業への助言

福岡県添田町において家屋を巻き込む土砂崩れが発生。福岡県警からの救出活動作業への支援要請を受けて、TEC-Doctor（水野教授「九州大学：砂防学」）を派遣し、助言等を実施。



土砂崩壊の様子



TEC-Doctorによる
崩壊箇所調査



TEC-Doctorによる
救出活動機関への助言

国道57号等の復旧工法検討支援

TEC-Doctorの現地派遣により、国道57号、205号、210号の被災箇所での復旧工法検討を支援。

- ・長崎県 国道57号土砂流入、国道205号舗装変状：蒋教授（長崎大学）
- ・大分県 国道210号土砂流入箇所：工藤准教授（大分高専）
国道210号R2被災箇所：鶴成准教授（大分大学）

▼崩落法面を注視し、応急復旧の規模について助言



長崎県雲仙市

TEC-Doctorの
ドローンによる現地確認



大分県九重町

TEC-Doctorによる
現地確認



長崎県東彼杵町

現地のTEC-Doctorと
九州地整災対本部のWeb打合せ

▲崩落法面に対する排水処理方法について助言

◀現地の出水状況を説明しながら、応急復旧のポイントについて助言